

本部行事が再開し、各地で報恩日行事を開催



座席を指定し、ソーシャルディスタンスを心がけた



北関東圏域教区の支部長または代表者1名と人数制限をした



講演台に飛沫感染防止の透明シールドが設置された



1.5m間隔でテープを貼り、着座のアナウンスを行った



マスク着用、手指の消毒を行って参加



プログラムをいつもの時間より短縮して行われた

5月25日、政府の緊急事態宣言の解除に伴い、本部行事が再開されることが決まり、7月1日には、全国の各直轄道場にて報恩日行事が行われた。

三密（密閉、密集、密接）を避けるため、本部道場をはじめ各直轄道場では、席の間隔を空け、マスクの着用、入場の際は非接触式電子体温計による検温、消毒液による手指の消毒、窓や非常用排煙口を開放しての換気など、さまざまなコロナ対策がとられての開催となった。

本部道場では、午後1時から2時頃ま

で休憩をはさまず通常より時間を短縮し、各教区10名の参加者に限定して行われた。プログラムは、拝礼行事、み声拝聴、みさとし拝読と進み、水谷久子さん（茨城小田支部）の体験発表に続き、出講の西村晴雄常任理事の講話。その後、終礼行事、会員各家の先祖供養、世界人類怨親平等供養を厳修した。

久しぶりの再会となった参加者たちは、ソーシャルディスタンスを気にしながら笑顔で会話を交わしていた。

7月5日には青年講座も再開され、東



非接触式体温計による検温（本部道場）

京ブロックのオンライン配信をはじめ、各直轄道場において、それぞれ感染防止に細心の注意を払いながらの開催となった。

津之守弁財天夏祭

日々の感謝を捧げた



梅雨の曇り空の中、7月1日の本部道場の報恩日行事に先立ち、正午より津之守弁財天夏祭が行われた。

西村晴雄常任理事はじめ、稲子知義崇敬会会長、本部役職員、会員有志、荒木町関係者らが参列した。

式典では、西村常任理事が祝詞を奏した後、玉串奉奠、拝礼行事が行われ、参加者一同、日ごろの御守護に対する感謝を捧げた後、参列者は金丸稻荷を参拝した。

なお、各直轄道場の御守護神祭も同日に執り行われた。

御霊地道場の開場時間変更について

令和2年7月1日より御霊地道場（管理事務所ともに）
開場時間が **午前8:00～午後7:00** となります。

- お山内の参拝並びにお百度は随時お参りください。
- 早朝や夜間など閉場時の駐車は、南棟前駐車場及び会員休憩所駐車場をご利用ください。
- また閉場時のトイレのご利用は中央棟1階トイレをご利用できます。
- 令和2年度内の研修に伴う宿泊についてはご相談ください。詳しくは御霊地管理事務所（TEL048-591-3711）迄お問い合わせください。

令和2年7月豪雨の災害により被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。
災害義援金を募集いたしますので、ご協力よろしくお願い致します。

沖縄慰霊供養

終戦75年を迎え 慰霊供養を催行

沖縄戦が終結した「沖縄慰霊の日」にあたる6月23日、正午から各直轄道場で慰霊供養が執り行われ、戦争犠牲者の安霊と平和が祈願された＝写真。

太平洋戦争末期の昭和20年、沖縄において熾烈な戦闘が繰り広げられ、民間人を含む約20万人の尊い命が失われた。沖縄戦終結の日について上皇、上皇后両陛下は、終戦記念日、広島・長崎の原

爆忌とともに「忘れてはならない日」とされ、特別な御心をよせられている。

本会では、沖縄が本土復帰前の昭和39年より9年間にわたり、戦没者をはじめ戦争犠牲者の慰霊と供養のために全国会員有志による巡拝団を結成、8回の戦跡供養を行った。それ以降も節目の年に巡拝団を派遣し慰霊巡拝を重ねてきた。

終戦75年を迎えた今年も、沖縄慰霊



巡拝を6月5日から7日に実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、やむなく中止となった。今回、この日を忘れることのないようにと特別に慰霊供養が行われた。

第51回 神変大菩薩碑建立記念祭

雨の中、御神徳を頂いて

恵みの雨を頂いた6月19日、山梨県富士吉田市の北口本宮富士浅間神社境内にて、第51回神変大菩薩碑建立記念祭が解脱会本部主催で執り行われた。

今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、岡野英夫理事長はじめ本部役員のみでの参列としていたが、熱心

な教えを学んでいる甲信教区役員や地元会員が特別に参加し、互いに距離を保ちながら日頃の御神徳に感謝の誠を捧げた。

午前11時より開式。修祓、献饌、岡野理事長による祝詞奏上の後、岡野理事長、白木好雄甲信教区長、山本和則山梨富士支部長が玉串奉奠、そして勤行と厳



かに執り行われた。直会は、同じく感染防止の観点から中止となった。

秋季大祭に向けた萬部供養の申込みについて

萬部供養は、金剛さまの御法力と「神宝」と呼ばれる御五法、そして陀羅尼經の功德により、^{だらに}靈魂が安霊するだけでなく、いきいきとはたらいいただける大変尊く有り難い供養です。

新型コロナウイルスに関する靈名について

世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症の終息を祈る萬部供養、並びに天茶供養札における靈名は、右記の通りとなります。「法界無縁萬靈」以外の靈名は、「個人靈及びその他の靈」の欄にご記入をお願いいたします。

- 「法界無縁萬靈」
- 「世界人類生靈無縁之靈」
- 「世界人類敵味方無縁之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症犠牲者之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症罹患者各家祖先代々之靈」
- 「新型コロナウイルス感染症医療従事者各家祖先代々之靈」

感謝と孝養の真心で

靈界入りされた父母や祖父母に対しては天茶供養を充分にして、感謝と孝養の心を込めて申し込むことが基本です。また土地関係や職業関係で申し込む時は、日々そのお蔭により生活させていただいていることの御礼と報恩の気持ちを忘れないようにしましょう。

「修身安楽」は、「自分の行いを正しく律し、立派な人になる」との意味があり、自分はもちろん、家族や親戚を申し込むとよいでしょう。金剛さまは萬部供養の第1号にご自身をなされ、2号から21号まで修身安楽に御一族をされています。「終身安楽」は、「一生の間、幸福に生活できますように」との意味があり、特別にお世話になった方々に対して感謝の祈りを込めて申し込みます。

申し込む時の心構えが大切

萬部供養の執行により、萬部供養の本証は御靈地に永久保存され、「靈祭執行之証」が申し込まれた会員に渡されます。金剛さまがご在世当時に渡された執行之証には、次のような内容の文章が同封されていました。「今回、靈祭されたご意志をお忘れなく家族や親戚に伝えられ、この執行之証は家宝として保存してください」

萬部供養は、申し込む時の「意志」が大切ですので、申請時には、どの靈魂を申し込むかを支部長や家族とよく話し合い、支部御神前でご挨拶を申し上げてから申し込ませてください。

お問い合わせ先：調札部 TEL:03-3353-3555

秋季大祭の申込メ切は9月15日

(各支部のメ切日は異なりますのでご注意ください)